



奈良県感染症情報

令和2年第16週(4月13日～4月19日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.32	(1.65)	↘	↘	↘	↓
2	A群溶連菌咽頭炎	0.91	(0.97)	↘	↘	↘	→
3	手足口病	0.35	(0.18)	↑↑↑	↑↑↑	→	→
4	突発性発しん	0.29	(0.47)	→	→	↘	↑↑↑
5	伝染性紅斑	0.15	(0.18)	↘	↓	→	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

定点把握感染症の報告数は、報告数上位5疾患では手足口病を除き、前週に比べ横ばい、あるいは減少で推移しています。手足口病が増加していますが、発生状況としては県全体での流行には至っていません。

新型コロナウイルス感染症の患者報告数は、増加傾向が続いています。新型コロナウイルス感染症はウイルスに曝露してから概ね5日程度で発症し、発熱や咳、全身のだるさといった、風邪のような症状が1週間ほど続くことが多いです。予防には風邪や季節性インフルエンザと同様に、一人一人が咳エチケットや手洗いの励行する意識をもつことがとても重要です。また、感染拡大を防ぐため、3つの密(密閉、密室、密集)を避けるようにしましょう。「密閉」空間にしないよう換気を心がけ、「密集」しないよう人と人との距離をとり、「密接」した状況での会話や発声は避けるようにしましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

溶連菌感染は減少し、例年増える感染性胃腸炎の増加はない。

登録すべき感染症は、全体的に少ない様子です。

その中で、発熱患者の診断には苦慮します。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は受診控えの様子で極端に少ない。

登録の感染症はなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

インフルエンザの発生はなかった。

アデノウイルス咽頭炎、胃腸炎が増加、ヘルパンギーナも散見。

全体的に感染症は少ない。

出典:首相官邸 HP より

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

密を避けて 外出しましょう!

①換気の悪い **密閉空間** ②多数が集まる **密集場所** ③近間で会話や発声をする **密接場面**

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

3つの条件がそろった場所が **クラスター(集団)発生のリスクが高い!**

*3つの条件のほか、**共同で使う物品**には消毒などを行ってください。

首相官邸 厚生労働省 厚労省 コロナ 感染

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 16 週 4 月 13 日 ~ 19 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	2 (0.04)	1 (0.07)			1 (0.10)			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	1 (0.03)			1 (0.14)				
咽頭結膜熱	1 (0.03)			1 (0.14)				
A群溶連菌咽頭炎	31 (0.91)	3 (0.33)	4 (0.44)	17 (2.43)	6 (1.00)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	45 (1.32)	7 (0.78)	19 (2.11)	5 (0.71)	14 (2.33)			
水痘								
手足口病	12 (0.35)	11 (1.22)	1 (0.11)					
伝染性紅斑	5 (0.15)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)	2 (0.33)			
突発性発しん	10 (0.29)	3 (0.33)	2 (0.22)	2 (0.29)	2 (0.33)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ	3 (0.09)	1 (0.11)					2 (1.00)	
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	1 (0.10)		1 (0.33)					
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)				
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(郡山1, 中和2)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 梅毒3件(中和3)

❖ 第16週のトピックス ❖

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえたオンライン診療について
(厚生労働省HP)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu_rinsyo/index_00014.html

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男														1							2	3008
	女															1							2
RSウイルス感染症	男																					1	104
	女				1																		1
咽頭結膜熱	男																					1	62
	女						1															1	61
A群溶連菌咽頭炎	男			2	1	4	1	5	1	1	1	1	2									19	480
	女				3	2	2	1		1	1				2							12	388
感染性胃腸炎	男		1	3	1	3	2	6			2	1	1	2	5							27	1050
	女			3	2				2	3		2	2	4								18	942
水痘	男																						63
	女																						60
手足口病	男			5		1		1														7	41
	女			1		2	1								1							5	31
伝染性紅斑	男					1			1	1												3	149
	女					1	1															2	107
突発性発しん	男		2	3	3																	8	80
	女		1	1																		2	72
ヘルパンギーナ	男					1			1			1										3	4
	女																						3
流行性耳下腺炎	男																						5
	女																						4
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						14
流行性角結膜炎	男																					1	11
	女																						1
細菌性髄膜炎	男																					1	2
	女																						2
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						15
	女																						11
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						5

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

